

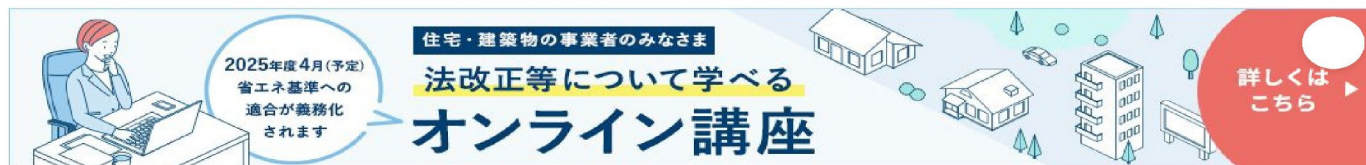
住宅・建築トップ 住宅行政トップ 建築行政トップ

[ホーム](#) > [政策・仕事](#) > [住宅・建築](#) > [住宅](#) > [建築物省エネ法のページ](#) > 資料ライブラリー

資料ライブラリー

←のガイドブックを開いてチェックリストを
設計内容説明書として使用してください。

省エネ法に関連する各種資料をまとめています。オンライン講座は以下バナーより確認ください。



[テキスト・ガイドブック等](#)

[広報ツール](#)

[その他の説明動画・テキスト](#)

(略)

テキスト・ガイドブック等

改正法制度説明会

(略)

設計等実務講習会

(略)

枠組壁工法の確認申請・審査マニュアル

(略)

★仕様基準ガイドブック

仕様基準の概要は[こちら](#)をご覧ください。

●木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック(省エネ基準編)



[木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック【省エネ基準編】](#)

[\(1～3地域版\)](#)



[木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック【省エネ基準編】](#)

[\(4～7地域版\)](#)



[木造・RC造戸建住宅の仕様基準ガイドブック【省エネ基準](#)

[編】](#)

[\(8地域版\)](#)



[仕様基準に基づく仕様表作成ツール](#)

木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック

1 ~ 3

地域版

1

宮城県

2

秋田県

3

山形県

4

福島県

5

茨城県

6

栃木県

7

群馬県

8

埼玉県

9

千葉県

10

東京都

建築物省エネ法

木造戸建住宅の 仕様基準ガイドブック

省エネ基準編

2025年
省エネ基準
適合義務化
対応版

ガイドブックの使い方	2
省エネ住宅のメリットと必要性	3
省エネ基準への適合の確認方法	4
【省エネ基準適合チェックリスト】	6
■ 断熱材の熱伝導率	10
■ 開口部（窓、ドア）の熱貫流率U	22
■ 設備機器の仕様	24

|||

詳しい情報は本書の
二次コードで！

6 | 健康福祉エネ法 木造戸建住宅の仕様基準ガイドブック 省エネ基準編 1～3地域版8 | 建築資材工法 木造戸建住宅の仕舞基準ガイドブック 省エネ基準編 1～3地域

省エネ基準への適合確認のプロセス

1. 断熱材の種類・厚さ
2. 開口部遮熱・断熱の性能
3. 設備機器の性能

すべて「適合」又は「ほぼ適合部」を選択

すべて設備でいずれかの性能が「適合」になります。

省エネ基準適合

☐ 適合 ☐ 不適

環境省 省エネ 不適合判定等の手続きガイドブック 省エネ基準 1～2階建

省エネ基準への適合確認のプロセス

1. 新築時の熱損失係
2. 断熱性能・気密性の調査等
3. 設備機器の仕様

すべて「適合」又は「該当等がない」と見受けられる場合

すべての設備で、いずれかの仕様を確認し

省エネ基準「適合」となります。

省エネ基準適合

☐ 適合 ☐ 不適合

6 | 建築施工工法 木造戸建住宅の仕組基準ガイドブック 窓エネ基準編 4～7地域版

```

graph LR
    A[初期時の熱負荷調査  
配管（配管、ケーブル）の熱伝導率U  
と伝熱経路調査] --> B[確認する地域の区分の基準に  
すべて（適合）又は（該当型なし）  
を調査]
    B --> C[設備機器の仕様]
    C --> D[すべて設備でいずれかの仕様を調査]
    D --> E[省エネ基準  
「適合」となります。]
    E --> F[省エネ基準適合]
    F --> G[適合]
    F --> H[不適]
  
```

4 ~ 7

地域版

1

北海道

2

東北地方

3

中部地方

4

関東～九州北部

5

九州南部

2025年
省エネ基準
適合義務化
対応版

建築物省エネ法

木造戸建住宅の 仕様基準ガイドブック

省エネ基準編

ガイドブックの使い方 2

省エネ住宅のメリットと必要性 3

省エネ基準への適合の確認方法 4

【省エネ基準適合チェックリスト】 6

断熱材の熱抵抗 R 8

開口部（窓、ドア）の熱貫流率 U と日射遮蔽対策 14

設備機器の仕様 16

|||詳しい情報は裏面の
二次元コードで！